

ONSA ニュース

No. 34-2

発行 2024年9月30日

ONSA の新しい方針と入会のおすすめ	1
第 33 回放射線利用総合シンポジウムのご案内	2
開催記録 第 80 回放射線科学研究会報告	3

ONSA の新しい方針と入会のおすすめ

(一社) 大阪ニュークリアサイエンス協会 専務理事 奥田 修一

1. ONSAの新しい方針

ONSA には、40 年にわたる活動の歴史がありますが、連携の中心であった放射線施設の運用が変わり、2022 年度より基本方針を見直しました。

放射線利用は高度化、多様化して多くの分野に広がりを見せていますが、それらの活動を支援し、共通する基礎的な知見や技術を共有するための組織としての取り組みを開始しました。放射線に関連する多くの個人や団体の参加の下、放射線に関連する次のような拠点の構築をめざします。

- (1) 多様な分野の「専門部会」を活用する会員の活動拠点
- (2) 産学官民相互の連携拠点

この ONSA の形と機能を図 1 に示します。

放射線に関連する個人、団体の活動・連携拠点

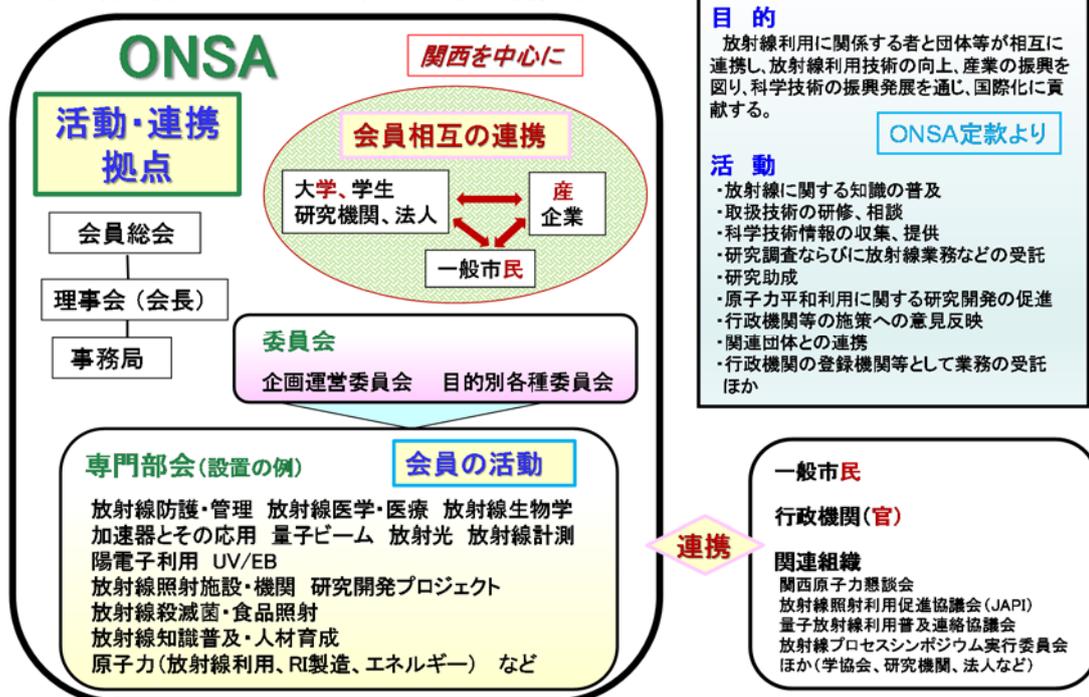


図 1 ONSA がめざす拠点の形と機能

定款に示された方針や目的は設立当初から変わりません。新しく設ける専門部会は、特に規模や分野の制限はなく、会員が自主的に活動できます。この方針を意味のあるものにするために、広く会員を増やして会員構成を実効あるものにする必要があります。これまで関西を中心としてきましたが、特に条件として定められたものではありません。

なおこの方針の実現への方向性を 2024 年度中に確かなものとし、その後につなげます。

2. ONSAへの入会のお勧め

入会される場合、個人会員、団体会員、学生会員があります。年会費はそれぞれ、5,000 円、50,000 円、2500 円ですが、学生会員には助成を予定しています。

会員には次のような特典があります。是非入会をお勧めします。

- (1) ONSAが主催する種々の行事の提案や参加ができます。
- (2) 専門分野での活動を行うために専門部会を設け、異分野の専門部会と交流できます。少人数でも可能です。また事務局のサポートが受けられます。予算は検討を要します。
- (3) これまでに集められた豊富な技術資料の閲覧ができます。
- (4) ONSAの事務組織、会議室や設備を利用して、会合や研究会が行えます。大阪での活動拠点として利用してください。
- (5) 産学官民、様々な組織の会員と交流、連携ができます。
- (6) 学生の皆さんも独自の活動や、先輩、産業界との交流に利用してください。

第 33 回放射線利用総合シンポジウムのご案内

第 33 回放射線利用総合シンポジウム開催概要（案）

1. 主催：大阪公立大学量子ビーム誘起反応科学研究所、一般社団法人大阪ニュークリアサイエンス協会（共同主催）
2. 実施日時：2025 年 1 月 24 日（金） 10：00～17：15
3. 会場：サンエイビル 3 階会議室（大阪市中央区南船場 3-3-27）
4. 開催形式：会場と Online（Zoom）の併用、講演は原則として Online
5. 開催目的と趣旨：放射線は、多くの研究分野における基本的なツールとして利用され、先端科学を牽引してきました。放射線に関する研究は、放射線利用を基本とする広範な境界領域の学際研究です。また放射線の利用技術の向上が、利用分野の研究を飛躍的に発展させてきました。

今回で第33回目となる放射線利用総合シンポジウムは、学術研究から産業応用まで放射線利用技術の普及と向上を目的とし、異分野の研究者、技術者が相互に情報交換するという、他の講演会には見られない特徴があります。テーマとして取り上げられた放射線利用は、ナノ材料、バイオ、医療、環境、エネルギーなど様々な先端科学や産業応用の基盤となっています。本シンポジウムでは、このように多くの分野で注目される最先端の話題を取り上げ、さらに基礎からわかりやすく紹介することで、専門家から一般市民まで広く参加いただきます。

シンポジウム プログラム

9:55～10:00 開会の挨拶 大阪ニュークリアサイエンス協会 会長 水田 仁

テーマ 1 「関西の放射線関連組織の現状と将来」（講演 (1) 15 分、(2, 3) 40 分、質疑各 5 分）

(1) ONSA の活動と新たな取組み (一社) 大阪ニュークリアサイエンス協会 専務理事 奥田 修一